

# 一般質問…ここが論点

## 3月定例会

3月市議会定例会中、3日、4日の2日間で、5人の議員が会派を代表して質問し、2人の議員が個人質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、3月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも6月上旬の予定です。

蒲郡市政クラブ  
代表 小林 康 宏

### 市財政について

**問** 財政調整基金が底をついてきたが、災害等予測の事態など先行き心配だ。どう考えているか。また、財政計画をつくるべきではないか。

**答** 人件費の抑制、使用料・手数料等の見直しなど経費の削減、また収納率向上など財源確保に努め、少しでも多くの基金を積み立てるとともに、行政改革を推進し、基金を取り崩さなくともすむような財政運営をしていく。

今後の三位一体改革、税制改革等を見極めながら、正確性のある財政計画をつくりたい。

### モーターボート競走事業 特別会計について

**問** 競艇事業の売り上げが急激に減少している。

徹底した経費削減に取り組む、他会計への繰出金を確保しなければ、競艇事業の存在意義が問われるのではないか。

**答** 収益確保のため努力し、少しでも多く他会計へ繰り出しをしないと考えているが、売り上げの減少に開催経費節減が追いつかないのが現状である。

売上向上策として、ナイターレースの開催日数の拡大、ナイター併売の実施等により、売り上げの向上を図り、繰出金を確保していきたい。

**問** 臨時従事員の基本賃金が高すぎるのではないかと。特に再雇用者は市の嘱託職員と比較しても下げ幅



モーターボートレース

が少ない。大幅な見直しが必要と考えるがどうか。

**答** これまでは総額を抑制するために、人員削減と雇用調整を重点に行ってきたが、昨年からの従事員組合に対し、賃金、諸手当の見直しについての提案を行い交渉を重ねている。今後は賃金を下げる方向で、組合との団体交渉を続けていきたい。

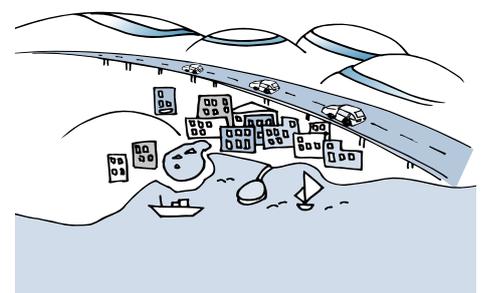
再雇用者の取り扱いも含め、売上状況に応じた賃金体系全体の見直しが必要であると考えている。

### 幹線道路の整備の見直しは

**問** 国道23号蒲郡バイパスの17年度の事業予定及び蒲郡ICから東側区間の事業化の見直しはどうか。

**答** 23号バイパスは柏原地区の用地買収を完了し、神ノ郷地区の買収に着手する予定である。

蒲郡市と豊川市、御津町、幸田町の2市2町で協議会組織を立ち上げ、効果的な要望活動を展開するとともに



に、現在事業中の西側区間の事業が計画的に進捗できるように、地元と協議調整し、1年でも早く事業化できるように努力していく。

### 蒲郡港マイナス11メートル岸壁計画

**問** 蒲郡港の物流が減ってきて、国・県は計画をなくそうとしている。しかし蒲郡にとってこの岸壁は必要だと考える。港湾計画でどのような位置付けがされるのかその見直しを伺う。

**答** 計画削除は回避できず、現状となってきた。この岸壁を港湾貨物取扱量により実施計画が可能な留保ゾーンとする再